夕刊
臺灣日日新報
五月五日

大甲溪開發工事

盛大な起工式擧行

長谷川總督臨席下に

大東亞戰爭の現決戰段階に於て百万[illegible]が負荷された戰力增强の使命達成を眼目とし新高工業地帶への電力及び工業用水の供給並に灌漑、治水への利用等に依り國防產業振興の推進力たる大甲溪開發事業は其壯[illegible]無比なる規模、[illegible]たる計畫の下、[illegible]なる調査と工夫に依り戰時下日本科學の卓越性を力强く發揮し國費一億圓を投じ九ケ年繼續事業を以て施工する事になり昨年六月總督府並臺灣電力間に請負契約に關する基本協定の調印を遂げ引續き各般の起工準備を急ぎつつあつたが、決戰下の國家要請に應へんとするこの綜合大事業は官民の[illegible]なる熱意と努力に依り、けふ五日[illegible]郡下明治[illegible]近くの現場に於て長谷川總督臨席の下に盛大なる起工式を擧行した、世紀の起工式典がこの日擧行さる[illegible]も決戰下に相應しく次々と轟く發破（ダイナマイト）の壯なる音が山間溪谷を震はせて工事は一瞬も休むこと無く邁進を續けて居る、起工式は午前十時半長谷川總督臨席、軍司令官代理岡本經理部長、武官府司令長官代理松藤參謀初め、森田臺中州知事、[illegible]、松岡臺灣新聞社長、木村臺灣商工會議所會頭、本山同副會頭、有田臺電副社長其の他官民來賓多數參列、松本臺中神社宮司齋主の下に先づ嚴かなる鍬入式より執行、[illegible]山の冷氣を[illegible]はす莊嚴なる祝詞の言と共に式は修祓、降神、獻饌、齋主祝詞奏上の後、奥田國土局長鍬入の儀及び增田臺電社長の鍬入の儀は滯りなく終り玉串奉奠に移り奥田國土局長、長谷川總督、軍司令官（代理岡本經理部長）武官府司令長官（代理松藤中佐）大田土木課長、增田臺電社長、松本電力建設局長、文官總代森田臺中州知事、[illegible]民間代[illegible]各代表それぞれ玉串を奉奠、次いで撤饌、昇神の儀あつて十一時過ぎ鍬入式を終了、それより直にその場に於て大甲溪開發事業起工式を擧行、國民儀禮の後長谷川總督は本事業の重要性並にこれが完成への決意を披瀝した別掲の如き告辭を朗讀し、次いで奥田國土局長の式辭及び軍司令官（岡本少將代讀）森田臺中州知事、增田臺電社長の各祝辭があつて世界に誇る大甲溪開發事業の[illegible]な起工式は[illegible]日本の偉大なる力を表象し正午過ぎ終了した

大東亞戰完遂に貢獻

長谷川總督の告辭

告辭

茲に本日を以て大甲溪開發事業起工の式典を擧ぐ

惟ふに今や大東亞戰爭は漸く決戰段階に入り敵米英は厖大なる生產力を頼みて軍備を强化し我に對し攻勢を企圖しつつあるも御稜威の下皇軍將士の善戰奮鬪に依り到處に之を擊破しつつあり、然りと雖も敵米英を徹底的に擊碎せんがためには益々戰力を充實强化せざるべからず

戰力强化の基礎は生產力の擴充に在り茲に於て政府は新に直接戰力の增强に緊要なる重點產業の急速增產に主力を傾注するの方針を確にしたり此の秋に當り本島に於ける國防產業の飛躍的振興を圖らんが爲め緊要にして且便易なる電力資源の開發を期するは喫緊の要務たりと確信し本工事を敢て起工し以て國家的要請に應へ大東亞戰爭完遂に寄與貢獻する處あらんとす

抑も大甲溪達見貯水池築造工事は其の規模の大なる事我國に於て他に類例なき世界的大土木工事にして本邦土木術師の精華を發揮すべき好期なり

本工事關係者は須らく此の光榮に感激し時局下各種困難を克服し粉骨碎身事に當り以て之が速なる完成に邁進せざるべからず

冀くは神明の加護と朝野諸賢の支援とに依り本工事の一日も速かならんことを一言所懐を述べて告辭とす

昭和十八年五月五日

臺灣總督海軍大將

正三位勳一等功一級　長谷川清

大堰堤、大量の發電

更に工業用水、灌漑用水を確保

奥田國土局長の式辭

式辭

大甲溪開發事業の劈頭に當りまして本日茲に總督閣下、軍司令官閣下、武官府司令長官閣下始め朝野諸賢の來臨を辱ふし起工の式典を擧行することを得ましたことは洵に欣幸とする所であります

抑も大甲溪は南湖大山其の他の峻峰に源を發し延長百三十八粁流域面積千二百平方粁を擁し其の流域は降雨量に富み常に相當の流量を保有し天然の地形による落差は千餘米に及び發電開發に絶好の條件を具へて居るのみならず本溪は其の位置が新高工業都市に近接して居る關係上送電距離が極めて短かいのでありまして發電送電上誠に有利な條件を兼備へて居るのであります

即ち將來本島工業發展の推進力として本工事の完成に期待する所甚だ大なるものがあると信ずるのであります

茲に於て政府は一億二千五百萬圓の巨費を投じて本發電工事並に[illegible]すると共に[illegible]に發電所を建設せしめ大量の發電を行ふと同時に其の餘水を以て工業用水並に灌漑用水の確保を圖り更に洪水の調節に依り沿岸の水害防止に資せんとするものであります

本工事の特異性と發電工事との關聯とに鑑みまして本工事並に之に附帶する鐵道、道路等諸般の事業一切を擧げて臺灣電力株式會社をして請負はしめ昭和十七年度より九箇年を以て之が竣工を期し居るのであります斯る大工事の完成は素より容易の業でなく殊に其の工程が相當長期に亙りますので其の間或は天災或は不測の障碍等の爲め事業の遂行を阻止せらるることなきを保し難いのでありますが本事業關係者一同は天祐神助を仰ぎ來賓諸賢の深き御理解と厚き御支援を得て協力一致不退轉の覺悟を以て[illegible]に當り全力を傾注して本事業遂行上に萬遺憾なきを期して居る次第であります

茲に本事業の着手に當り[illegible]何卒[illegible]一日も速ならんことを衷心より祈つて已みません、茲に所懐を述べて式辭と致します

昭和十八年五月五日

臺灣總督府國土局長　從四位勳三等　奥田達郎

世界に稀、雄渾の規模

本島國防產業の中核

戰力增强を第一義とする現下わが本島に於ける國防產業振興の推進力たらしむべき大甲溪開發工事は米英擊滅の決戰下戰時下日本科學の[illegible]を發揮すべく五日茲に起工式を擧げた、本事業は新高港の[illegible]に伴ふ中部工業地帶の完成に[illegible]電力及び工業用水の供給並に下流地域の灌漑[illegible]

[illegible]の下に長谷川總督の[illegible]として企圖され一部を臺灣電力の特定請負とし第一期工事は十七年度以降四ケ年の繼續事業として發電設備と工事設備の完成を期し第二期工事は二十年度以降五ケ年間に堰堤工事を完成せんとするものでその間政府は第一期工事に[illegible]に達する巨費を投じ、明治郡の[illegible]に堰堤を築造し一方[illegible]第一號、第二號[illegible]を通じ二億[illegible]圓を以て天冷、[illegible]第一、[illegible]第二、明治、[illegible]の六發電所建設並に工事に要する諸施設の完成を期し、[illegible]キロの電力を確保せんとする[illegible]から見てボルダーダムに匹敵するものである、而も此の世界的な大事業を[illegible]へと只一すぢに邁進するこの重大決戰下に於て[illegible]せんとするは[illegible]日本科學の偉大なる力と[illegible]官民の[illegible]と工夫に俟つもので[illegible]

[illegible]國防產業發展の中核となり[illegible]の研究を期し帝國の戰力增强に寄與せんとする本事業は世界[illegible]たけにあらゆる部面から[illegible]れ[illegible]なる[illegible]の上に[illegible]へ必勝の信念の下に官民を[illegible]關係者は一致協力之に當り[illegible]起工式の[illegible]は「[illegible]くは神明の加護と朝野[illegible]の支援とに依り其の竣工の一日も速かならんことを[illegible]」と述べたること[illegible]

司法長官會同

【東京電話】司法長官會同第三日は五日午前八時司法大臣官邸で[illegible]、この日は地方裁判所長と檢事正とに分れ[illegible]大審院長、檢事總長を夫々[illegible]に招いて[illegible]を述べ[illegible]刑事部法中改正法律並びに經濟事犯の運用等につき[illegible]を行ひ同十時三日間に亙る合同協議を終つた、次で同十時半から司法省内法曹會館において司法長官並びに名川（東京第一）[illegible]（同第二）、田阪（東京）各辯護士會長始め全國辯護士會長との合同協議に移り[illegible]

東條首相招待宴

【東京電話】東條首相は司法長官會同に參集の[illegible]五日正午首相官邸に招待、午餐を共にしたが[illegible]

米の常套不法占據

佛政府明確に指摘

【ヴイシー四日發同盟】米國政府は去る三十日ロベール佛領西インド諸島總督がヴイシー政府への忠誠を主張してゐるとの口實を設けてマルチニツク島との關係を斷絶しマルチニツク島[illegible]したがフランス政府筋では四日夜次の意向を表明した

マルチニツク島が[illegible]の役目を果してゐる事實は全然ない、[illegible]ダカールやマダガスカル島に[illegible]をもつてゐないとは何れの國よりも米國政府が熟知してゐる筈である、今までの例を見てもフランス政府が[illegible]に[illegible]を與へてゐると宣傳し出すとその後で必ずこれらの地方に不法占據を開始する、これはダカール、マダガスカル島及び北アフリカ植民地への上陸等に依つて明かな所である

フイリツプス

米英對立暴露

【リスボン三日發同盟】ルーズベルトの特使フイリツプスは[illegible]五ケ月間印度に滯在し[illegible]ワシントンに[illegible]したが[illegible]

全米に賃銀增額要求

インフレ防止策の危機

【ブエノスアイレス四日發同盟】ワシントン來電＝米國内務長官イツキースが四日發表した炭坑[illegible]に關する一週六日勞働[illegible]は[illegible]する結果となるので他の產業部門[illegible]に與へる影響は相當[illegible]な樣子でルーズベルトのインフレ防止策はここに重大危機に逢着するに至つた、既に炭坑組合と[illegible]前後して[illegible]勞働組合もニューヨークの[illegible]五千の[illegible]要求を提げて[illegible]

デトロイト戰車工場も罷業

【ブエノスアイレス四日發同盟】デトロイト來電＝クオード自動車會社デトロイト戰車工場の從業員五千名は[illegible]三日より罷業を[illegible]した

米の軍需生產限度

ネルソンの發表　英國深刻な絶望感

【ストツクホルム發同盟】米國戰時生產局長官ドナルドネルソンが最近三月中の[illegible]生產[illegible]て米國の軍需生產が今やその限度に近づきつつあると發表したことは米國の生產能力を唯一の頼みとしてゐる英國各方面に甚大な衝撃を與へた模樣である[illegible]

濠外相頻りに米に救援要請

【ブエノスアイレス四日發同盟】[illegible]

炭礦勞働者の勞働條件變更

【ブエノスアイレス四日發同盟】ワシントン來電＝米國政府と炭山勞働組合との間に成立した[illegible]の內容については雙方とも[illegible]

陵川地區に剿決戰

敗殘敵軍を續々捕捉殲滅

【南部太行山前線四日發同盟】[illegible]

損害は惡天候の爲

英の所謂優秀機潰滅の辯

【ブエノスアイレス四日發同盟】[illegible]

米英ソ交涉重大難局

亡命波蘭の對ソ態度强硬

【ストツクホルム四日發同盟】ソヴエト政府の斷交以來米英側はソ聯と[illegible]ポーランド人の[illegible]ソ聯側に抑留されてゐる[illegible]ポーランド[illegible]一九三九年九月[illegible]

宋美齡華府着

【ブエノスアイレス四日發同盟】ワシントン來電＝宋美齡は三日午前ワシントンに到着、直ちに賓客としてホワイト・ハウスに入つたが今回のワシントン訪問には[illegible]

波政權の改組要求

ソ聯、依然强硬態度

【ストツクホルム四日發同盟】ソ聯政府は依然强硬な態度を持して[illegible]

ルーズベルト親書

【ストツクホルム四日發同盟】[illegible]

英駐ソ大使ソ外相訪問

【ストツクホルム四日發同盟】モスクワ來電＝[illegible]

“要塞戰”北阿戰線

兵器の改善互に苦心

【ベルリン三日發同盟】チユニジアの戰局は[illegible]

北阿の戰鬪は[illegible]

獨戰車の威力[illegible]

マツール撤收

總統大本營發表

【ベルリン四日發同盟】總統大本營は四日正午の[illegible]チユニジヤ[illegible]のマツールの[illegible]した旨發表した

獨米襲の英機

十三を擊墜

【ベルリン四日發同盟】[illegible]

赤機擊墜四千

獨軍四ケ月戰果

【ベルリン四日發同盟】[illegible]

西國家主義の優位

フランコ統領强調

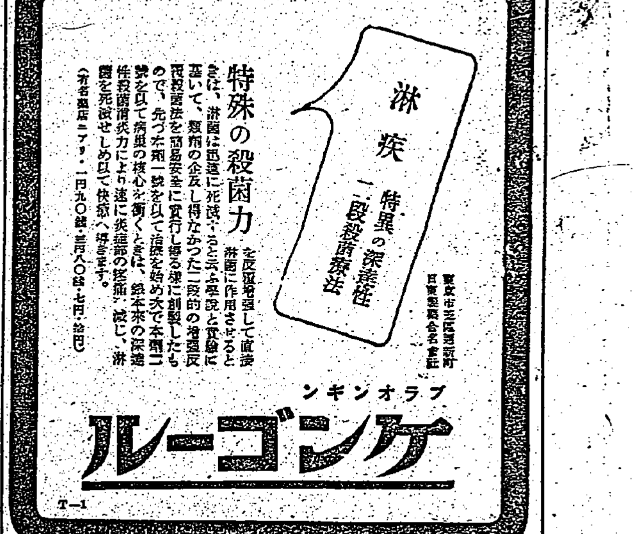
【マドリード四日發同盟】スペイン國家元首フランコ將軍は四日[illegible]

胃腸に自力健康器
食慾は進み、身體が肥る
使用は簡單 女も子供も老人も
便秘症にも
藥店にあります

体錬栄養
体力がモノを云ふ時代です！強靭な体力を確保するために体錬の要が叫ばれてゐますが、無計画な鍛錬で失敗せぬよう…
鍛錬による肉体の疲勞と消耗された体力の恢復は平素から栄養を充實することによつて促進され、鍛錬と栄養との平衡が失はれると消耗された体力の恢復が不円滑となり、又疲勞が蓄積して過勞となつて却つて逆效果を招き、抵抗力を衰へさせ肋膜炎や結核等を誘發する危險がありますから、鍛錬と並行して常に充分な栄養の補給を怠らぬことが肝要です。
疲勞 素を解消するグルタチオン、体力源グリコーゲン等の協力で、栄養充實・疲勞恢復・体力增强等の綜合效果を發揮し、鍛錬の效を益々昂めます。
錠剤わかもとは体錬ビタミンと謂はれるB複合体に富み新陳代謝を昂めると共に、胃腸を强め食物の栄養化を促す三消化酵素
（一瓶價・一日約[illegible]錢）
是非は是ひ藥店へ！

胃腸障害
常習便秘に
消化 栄養 剤
ヂアドミン 錠
强力消化酵素ノイラーゼに加ふるにV・B群、天然カルシウム、良質發酵性乳酸菌及び純乳糖の複合劑にして、食物を短時間に消化し、爲めに本劑の營養素は悉く消化され、腸内殺菌の所と共に食欲增進、腸内細菌の殺菌作用をも
價定公
[illegible]錠 1.97 6
1000錠 5.35
東京・淀橋・百人町三丁目　三[illegible]製藥株式會社

肺・肋膜の早期治療に
直接患部に作用して治療效果を發揮する特色を有してゐるので、肺、肋膜の治療に貢用して優秀なる治療率を擧げてゐる。結核は早期に治療するのが一番肝要です。丈夫な體で增產へ！決戰下、先づ健康を確保いたしませう。
肺結核　藥價
肋膜炎　一四八十五錢
腺病質　四四三十錢
神經衰弱　八　圓
藥店にあり
丈夫な體で 增產へ增產へ！
ヨード含有量昆布の千五百倍
ネオスエー
N 207
東京神田神保町三 アルス藥品部



淋疾 特異の深達性 二段殺菌療法
東京市芝區西新町 日東製藥合名會社
特殊の殺菌力を反復增强して直接淋菌に作用させると云ふ學說と實驗に基いて、製劑の企及し得なかつた二段的增强反覆殺菌法を簡易安全に實行し得る樣に創製したもので、先づ本劑一號を以て治療を始め次で本劑二號を以て病巢の核心を衝くときは、從來の深達性殺菌消炎力により速に炎症部の疼痛は減じ、淋菌を死滅せしめ以て快癒へ導きます。
（有名藥店ニアリ・一円九〇錢・三円八〇錢・七円・拾円）
ブラオンギン
ケンゴール
T-1

島敵前上陸一周年

希望に滿つ新生比島民

【マニラ五日發同盟】端午の節句[illegible]千八百[illegible]のけふ五日、わが將兵が敢然コレヒドールに敵前上陸、米東亞軍の[illegible]を撃碎し去つてから早くも一周年、[illegible]の建設に[illegible]の努力を傾ける比島民の顏は輝[illegible]民の信望を[illegible]ヴアルガス長官は六日には日本に對する感謝行事、七日にはコレヒドール陷落記念式及び治安確保に關する行事が行ふべく命ずると共に、五日から七日までの三日間各戸に日章旗を揭げ[illegible]した、マニラ・ホテルの屋上に[illegible]大日章旗と[illegible]を仰いでマニラ市民は嘗ての[illegible]バタアン、コレヒドール等をマニラ灣の彼方に眺めながら明日への喜び新たにしてゐる

睨み合つた米、比兵

ヴアルガス行政長官の子息

コ島最後の樣相を語る

【マニラ四日發同盟】コレヒドール陷落以來早くも一年、嘗て米比軍にあつて米人[illegible]の下に身を挺し銃先を向けてゐた比島人兵士達も今ではその多くが[illegible]の恩典に浴し新比島建設のために[illegible]いてゐるが比島行政長官ヴアルガス氏の子息ホルヘ・ビー・ヴアルガス君（二[illegible]）もその一人である、同君は大東亞戰爭勃發直前米比軍の召集を受け[illegible]やつと一ヶ月で花嫁と別れて入隊、主に少尉として[illegible]米比軍とともにバタアンからコレヒドールへと轉々したものであるが、コレヒドール陷落後一ヶ月、釋放され今は一子の父として平和な家庭生活を[illegible]比島のためアジアのため若々しい[illegible]を傾けてゐる、以下は同君の語るコレヒドール[illegible]の日の實相と將來への決意である

米人達は比島人を多く人間扱ひにしなかつた、比島人兵士が命を投げ出して戰つてゐる時でも米人士官はこれに[illegible]な態度と言葉を[illegible]すばかりであつた、バタアン陷落では米國兵は[illegible]少數だつたがコレヒドールへ來てみると二人に一人以上が米人でその總數は凡そ一萬に及んでゐた此處でも比島兵と米兵との反目は極めて

險惡 な空氣を[illegible]り合ひや刃傷沙汰が頻發した[illegible]日本軍の上陸が[illegible]され米人士官達は[illegible]によつて比島兵を日本軍の矢面に立てようとして「地下要塞から出て抵抗せよ」と云ふ[illegible]い命令を部下の比島人士官に下すに及んで積り積つた比島兵の憤激は遂に堰を切つたのだつた、日本軍のコレヒドール砲撃は壯絶を極めた、[illegible]に吹飛んだ兵舍、[illegible]を止めぬ砲彈、火藥とともに爆發する[illegible]の山、蜂ツ巢になつた樹木の群、[illegible]る際に直徑十米の大穴が口を開け[illegible]りの破片が[illegible]ルの米人が許さなかつたのだらう、[illegible]だ、この時にはその[illegible]が[illegible]

明瞭 だつた、我々自身がこの世にあと日もう數へるばかりであることを思はずにゐられなかつた、バタアン陷落後コレヒドールの士氣は全く地に落ちて[illegible]が終つてさへ呉れればいい、結果が何うであらうとそんなことは知つたことではないといふ態度だつた、マツカーサー司令官とマニユエル・ケソン前大統領が逃亡したといふ報せは數日してから我々のところに傳はつた、それを聞いて私はがつかりした、何だか見捨てられたやうな感じがし[illegible]憤りを押へることが出來なかつた、自分の姿を沈んで行く船の船客に見立てたりした、矢張りそのころ聞いた噂だがケソンはマニラへ歸りたいと申出たところコレヒドールの米人が許さなかつたのだらう[illegible]

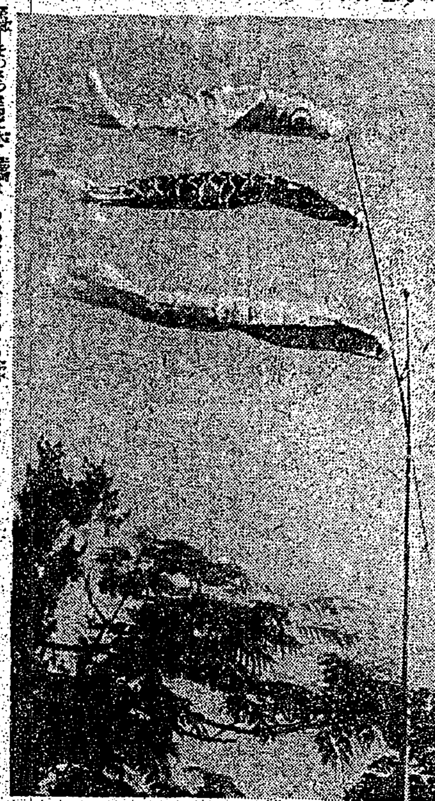
官職 についた比島人の[illegible]に米比軍中にゐるこの比島人達の息子や[illegible]の[illegible]を[illegible]んじたのであつた、コレヒドールで私が始めて接した日本人は同盟通信社の藤田賀氏だつた、藤田さんは日本軍の[illegible]人と一緒に私の[illegible]へ來た、カーキ色の[illegible]をつけたその二人の[illegible]さんは本當に比島人とそつくりだつたので[illegible]な親しみ深い[illegible]米人達から「日本兵は[illegible]」と聞かされてゐただけに私にとつて一つの驚きだつた、藤田さんはマニラにゐる私の家族の消息を色々話してくれた、又彼のおかげで私の家族に手紙を書くことが出來た、私はコレヒドール陷落後一ヶ月で[illegible]により釋放され[illegible]比島建設のため及ばずながら努力を[illegible]けてゐる、[illegible]コレヒドールの陷落こそは米英の[illegible]を告げる[illegible]であり東方の復活を[illegible]あつたと思ふ

こゝにも强き男の子あり

—けふは端午の節句—

◇…競ふ日本が勝利の盛に[illegible]迎へた端午の節句、今年は[illegible]兵[illegible]の聲が叫ばれてゐる時とてその意義も一入深いものがある[illegible]、[illegible]の空に、南洋、[illegible]に、そしてアリユーシヤンの北方の空高く[illegible]日の丸の旗を追つて悠々と泳いでゐる鯉は「[illegible]兵[illegible]」を[illegible]して[illegible]日本の姿そのまゝだ

◇…[illegible]を浴しすく〳〵伸びる共榮圏十億の繁榮を[illegible]かに[illegible]げて鯉は[illegible]—そのさつき空に泳ぐ鯉はゐるのだ、祝へ男の子のその節句、勇はいさましい[illegible]、五日臺北市で[illegible]鍛へよ我が身、この心身……【寫眞[illegible]】



桃太郎さんにご褒美

決戰第二年の子供の日

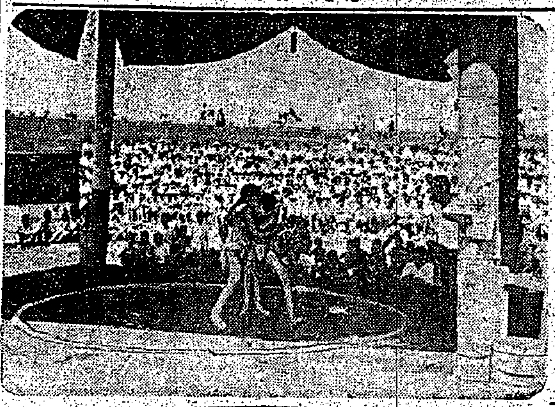
薰風五月の大氣を[illegible]一ぱい[illegible]んで[illegible]と大空を泳いでゐる鯉のぼり[illegible]にこの[illegible]日本の[illegible]しい[illegible]があるが、[illegible]く大東亞戰第二年を迎へる端午の節句の五日、ぼくらの日を祝へる「子供の日」の行事が全島津々浦々で[illegible]繰展げられた、この日臺北市では午前十一時から公會堂で市社會事業助成會の主催による優良兒表彰式が行はれた、押かけた[illegible]の多い赤ちゃんから選ばれた昭和の桃太郎君、優良兒四百八十名、優良兒百二十五名が自慢のお母さんに抱かれて定刻前から會場に集合、市側から市長を始め文[illegible]、社會、[illegible]生き課長、米[illegible]多[illegible]別席、[illegible]民[illegible]に次で[illegible]長代理村上[illegible]大助[illegible]立つて「[illegible]火[illegible]時下イサは乳幼兒の體力の[illegible]下を來したか、わが國に於ては[illegible]乳幼年を通じた[illegible]乳幼兒の體力に[illegible]のないことは[illegible]に[illegible]しいことである」と[illegible]を[illegible]し、會得[illegible]市[illegible]より[illegible]内[illegible]明、岩[illegible]治、[illegible]子、山田[illegible]代、水野[illegible]宏、[illegible]子の各代表に賞狀ならびに會長賞の授與あり、終つて同市長の挨拶、米[illegible]田[illegible]の祝詞、これに對して[illegible]代表三[illegible]夫人の答辭あつて和やかな[illegible]に式を終つた

双生兒も榮冠

この日の入賞兒の異彩は臺北市末廣町六ノ二〇太平小兒科[illegible]氏の二女、三女[illegible]フタミさん、[illegible]とヒトミさんの双生兒がそろつて入賞の榮冠を[illegible]たことであつた、育兒の秘訣を訊ねるべく同氏を訪へば、[illegible]笑み[illegible]ら次の如く語つた

別に秘訣などありません、ただ乳兒を自然にまかせ、あまりか[illegible]ないやうに育てたことです[illegible]それから母乳は最初出なくとも無理にすはせるやうにして出させて母乳で育てたことなどがよかつたといへるかも知れません[illegible]と語つた

新竹市 【新竹電話】五日新竹市では午前十時から[illegible]



寫眞說明 上から臺北兒童相撲大會實況、[illegible]彰された双生兒フタミさんとヒトミさん

屑鐵三噸を獻納

臺銀から軍司令部へ

一米の古釘として[illegible]お國のために[illegible]と臺銀に[illegible]いたけ[illegible]を[illegible]める[illegible]方面の努力が續けられてゐるが、臺灣銀行では從業行員り衣服[illegible]へにも[illegible]してゐたロッカー五十個（約三噸）を獻納することとなり五日朝から[illegible]車に積んで[illegible]と軍司令部に持込み[illegible]部[illegible]官、[illegible]少尉立合の下に[illegible]海軍[illegible]部[illegible]より[illegible]の手[illegible]をとつた【寫眞は臺銀からの獻納屑鐵】

鼻先に火を吐く敵機

海鷲モレスビー爆撃行（下）

[illegible]隊は各々その目ざす目標へと近づく、[illegible]隊はその上下前後を守つて飛ぶ、この時攻撃隊指揮官から「全軍突撃せよ」の命が下る、突撃隊形に入つた攻撃機からは、ねらひ定めた爆彈の雨が一齊に降る、と、眼下に[illegible]の矢がスーツと消えた先端にパツパツと[illegible]火が見えた[illegible]、今[illegible]クツキリと見えた[illegible]は[illegible]たる[illegible]におほはれ、[illegible]のやうに飛行場に置いてあつた大型機も、[illegible]みたいな小型機の群も[illegible]と[illegible]んでしまふ、と二[illegible]から大[illegible]の[illegible]がモク〳〵と二千メートル以上もトつた、港の船も一艦の[illegible]中彈、[illegible]炎、大[illegible]はかうした一瞬の間に[illegible]けられたのであつた、この突如たる大空襲に[illegible]した敵は、この時初めて[illegible]火を[illegible]

わが軍に「[illegible]」の合圖があつてから[illegible]く敵戰闘機は[illegible]に現はれたのだつた、P39（エアラコブラ）P38（ロツクヒード）カーチスP40の戰闘機[illegible]はなかなか[illegible]になりぬ[illegible]、ピユー〳〵と上つて來た「待つてました」とばかり、ただ更に頭上に〇〇メートルの雲の中にも[illegible]と[illegible]の姿が見え初めて來る、[illegible]がモレスビー上空の[illegible]は[illegible]くて[illegible]されたのである、[illegible]機はわが[illegible]機に食ひついて來る[illegible]の〇〇中尉、〇〇中尉、〇〇中尉らそれ〴〵手[illegible]の部下小隊を率ゐて二手、三手に分れて敵機中へ突入、追[illegible]た

〇〇中尉 [illegible]機に向つて行くP38二機の中一機を追ひまくつてやつつけたのですが、私の[illegible]一つと[illegible]火つ[illegible]んだのです、

〇〇二飛曹 〇〇中尉と手わけしてP38を一機づつ追つたのですが、いつの間にか他の一機が背後へついて來て[illegible]しました、[illegible]がひどくゆれましたが、[illegible]に[illegible]をかけず[illegible]グーンと前へ滑り出て[illegible]て反撃するため引上げました、ちようどよし、[illegible]頭になつたので、パパツと[illegible]を[illegible]うと火を吹いて[illegible]ちました、[illegible]汗ものでした

〇〇中尉 [illegible]が調べたら機の〇〇が切斷されてゐたので、よく[illegible]んで[illegible]たものだと感心したほどです

〇〇中尉 私は二番機P38に向つて行つてまづ[illegible]

直ちにもう一機に向ひましたが[illegible]スタコラ逃げてしまひました[illegible]しからん、[illegible]のは[illegible]部が[illegible]カリ飛んで下方へ[illegible]つては行つたが、地面に突入するのを確認しませんから私のは不確實です

〇〇一飛曹 P39と向ひあつて[illegible]反撃し、[illegible]に切返しさ[illegible]後上方から射つと[illegible]を吹いたまゝ逃げて行きました、丁度〇〇番機が[illegible]を待つてゐて、空[illegible]いで[illegible]して呉れました、それから山を越えて來ると[illegible]の下方に敵P40の八機[illegible]が見えたので[illegible]と突つ込んで一機[illegible]しました

〇〇中尉 私は[illegible]以來[illegible]して危い目にもたびたびあひましたが今日のやうに「もうアカン」と[illegible]したことは無い、[illegible]あの[illegible]が[illegible]ません、[illegible]隊の[illegible]でモレスビーの[illegible]へ來た時、わが[illegible]をねらつて來るP38を發見したから[illegible]かかつて、逃げるのを追ひました、大したし[illegible]ひしたのではないのですが[illegible]して[illegible]方に[illegible]

方は影も形もない、モレスビー上空です、[illegible]に一人取殘されてしまひました、彈丸はこれまでに[illegible]と無く射ちあつたので僅少です、いくら飛んで行つても味方の姿は見えず、行手にはあの四千米の高い山脈が[illegible]立してゐるのです、ふと左上空に[illegible]があるので近づくと何と敵です、困りましたよ、あの時は、エーイ、どうせ一度は死ぬんだ、これがばかりしか[illegible]しないで死ぬのは[illegible]が仕方がないと逃げるどころか、こちらから突込んで行く[illegible]とつたら、何と[illegible]にサツと[illegible]して逃げて行つたホツと安堵して直に八方へ目を配りながら飛んでゐると[illegible]三機[illegible]に出遭ひました、が、これも敵、[illegible]の[illegible]はようやく[illegible]しながら[illegible]とるとと[illegible]を[illegible]して[illegible]も[illegible]もありません、[illegible]されたら[illegible]と[illegible]によりも[illegible]なしです、と思つてゐると、またも下から[illegible]隊がやつて來る、味方、あれかしと[illegible]つてゐたのです、[illegible]を近づいて[illegible]る[illegible]今[illegible]そはいつと[illegible]

よいよ長かつた飛行生活の終りだと覺悟して上から突込まうとすると、[illegible]は下の[illegible]めがけて逃げ去りました、今の間に三十六[illegible]をきめようと、四千米の山越えの準備をしてすつ飛びましたが、地上とちがひ廣い空のことです、何處に[illegible]の目が光つてゐて何時降つて來るか判らない、そこで八方へ目を配りながらジグザグ運動で[illegible]の目をかすめてやつと山を越え、[illegible]にただ一機で海を越えて歸つたが、本當に疲れきりました、空の[illegible]です、いい年齡をしてはづかしいがクタクタになりました

しかしけふの[illegible]は私より私の二番機〇〇上飛曹にきいて下さい、[illegible]を[illegible]て射ちまくり、[illegible]のためプロペラが[illegible]ツ飛ぶ一歩手前だつたのですからネ

〇〇上飛曹 私が[illegible]機に向つて來たP38を追ひ[illegible]して[illegible]て來た時〇〇中尉はもう[illegible]にをられませんでした、その[illegible]の[illegible]隊をただ一機[illegible]して來ましたが[illegible]ではなく、サツと[illegible]

に近づけないで[illegible]ので一ぱいでした、[illegible]からと[illegible]なつたのですが、もつと[illegible]多いのに[illegible]られてゐたら手にお[illegible]ません、しかし一匹一機でP39がかかつて來たので、そやつとは[illegible]ら、その一機を上方から一撃で撃[illegible]し、[illegible]にその下を突込んでゐるもう一機に向つて[illegible]を浴びせると[illegible]いて急[illegible]して山腹の[illegible]を[illegible]よ[illegible]の中へかくれた

〇〇中尉 いきなりP39四機に[illegible]されたから面白かつた、[illegible]よ、グングン突進してあつちを射つたり、こつちを射つたりしてみたら、いつの間にか一ぞんな感じでした一[illegible]の方で火を吹いて一機[illegible]ち、もう一機が油を流したが[illegible]ら下へ[illegible]ちたがこれは不確[illegible]です、何度かグン〳〵と衝撃を[illegible]に感じた時、[illegible]してみました、大[illegible]な機に大[illegible]が[illegible]いてしまひました、だが今日の[illegible]では私の〇番機が大[illegible]しましたよ

〇〇飛曹長 モレスビーの眞上で、P38の奴が前方の[illegible]機に[illegible]をとられてゐるのを發見したので、[illegible]と[illegible]下方から[illegible]目がけて[illegible]を[illegible]き込んだら、

目の前を[illegible]つてゆきました、火[illegible]をワン〳〵あげてゐたので、[illegible]る奴ひをかきました、それから[illegible]途山越えをする直前です、P39二機が[illegible]機に[illegible]ひかかつて來たか[illegible]ら、その一機を上方から一撃で撃[illegible]、[illegible]にその下を突込んでゐるもう一機に向つて[illegible]を浴びせると[illegible]いて[illegible]して山腹の[illegible]を[illegible]

かくてこの[illegible]隊だけで實に十九機の敵機をニユーギニヤ上空の血祭りにあげ、[illegible]〇〇基地へ歸還、元氣のよい土產話をきかせてくれたのであつた（大本營[illegible]可濟）

送附のお茶、在米同胞に配布

【チユーリツヒ四日發同盟】萬國赤十字社本部は日本赤十字社からロレンソ・マルケス經由米國に送附した[illegible]二百箱が[illegible]内の邦人[illegible]所に配布され[illegible]人日本の飲用に供するに十分な[illegible]が[illegible]つた旨[illegible]した

總額八萬圓を超ゆ

四月中海軍武官府への獻金

[illegible]海軍武官府[illegible]の四月中に於ける[illegible]への獻金[illegible]は國防獻金[illegible]金品を合せて三萬五千五百[illegible]、八萬一千八百四十一圓二十[illegible]に達した、その内譯は國防獻金[illegible]萬五千四百八十五圓六十五[illegible]、[illegible]金[illegible]百一十三[illegible]一萬二千八百六十二圓七十[illegible]、[illegible]三千九百四十三圓[illegible]（內譯[illegible]二十[illegible]八千八百六圓一錢）で、その内には[illegible]火利組合[illegible]北[illegible]の一萬圓國防獻金や内臺[illegible]より[illegible]七十三圓、[illegible]部[illegible]人會支部の[illegible]があり大東亞の[illegible]將士に對する[illegible]民の[illegible]は[illegible]增しその[illegible]が各[illegible]金品となつて現はれ[illegible]官府[illegible]でも大いに感激してゐる

重なる篤行

賞金に私財を加へ國防獻金

臺北市[illegible]九八一[illegible]氏は[illegible]日[illegible]三[illegible]して出[illegible]命ぜられるや同日[illegible]の死に[illegible]で[illegible]にも拘はらず[illegible]の[illegible]下に自己の任務の重大さを[illegible]目覺ましい活動を行つて任務を完全に遂行したところからその[illegible]を[illegible]る[illegible]賞金に[illegible]が[illegible]付せず公[illegible]に[illegible]つて取り[illegible]げられ、[illegible]二十二日同[illegible]より[illegible]されると同時に[illegible]賞金五圓を受けた、ところが同氏

寫眞說明 上から臺北兒童相撲大會實況、表彰された双生兒フタミさんとヒトミさん

安藤軍司令官

あす臺北驛發南下

安藤軍司令官は[illegible]方面[illegible]のため[illegible]川[illegible]官[illegible]同、六日午前九時臺北驛發列車で南下するが臺北[illegible]は同日午後十一時十分の[illegible]である

豆九士敢闘

第三回臺北市國民學校[illegible]大會は臺北市[illegible]會主催のもとに五日午前九時から圓山川端公園相撲場で市内各國民學校參加の下に午前中は一試合、午後からは二試合の對校試合が行はれ、各選手は母校の名譽をかけて[illegible]三十六[illegible]に[illegible]すれば、小九州山、豆出羽海等が[illegible]時折り出場して拍手、[illegible]の好取組に[illegible]を[illegible]せ[illegible]本元臨國本場所より一足先きに[illegible]所を展開し非常な盛況であつたが一試合は[illegible]校を[illegible]組、[illegible]組に分け總當りとし、各組の勝者[illegible]と[illegible]兩門校の間に[illegible]が[illegible]ぜられた結果

[illegible]	12—7	[illegible]
[illegible]	6—3	[illegible]
南門	3—6	壽
双葉	0—9	南門
昭和	5—4	樺山
旭	2—7	建成
壽	8—1	双葉
樺山	6—3	昭和
建成	5—4	壽
旭	1—8	南門

白衣の勇士へ

續々赤誠の慰問

白衣の勇士の[illegible]を[illegible]する[illegible]しい[illegible]の[illegible]として[illegible]林國民[illegible]一同がこの[illegible]二百六十圓、[illegible]一百九十九圓を[illegible]へて臺北陸軍病院を訪れたのを始め最近における同病院の慰問者は左の通りである

△生花一〇〇[illegible]北第二高女[illegible]、△[illegible]八五〇圓大日本婦人會臺北[illegible]、△[illegible]五〇圓[illegible]、△金十二圓九〇[illegible]大日本[illegible]人會臺北市分會第五班、△[illegible]第三[illegible]

間臺北放送[illegible]、〇〇[illegible]、△[illegible]六[illegible]〇圓大日本婦人會[illegible]、△[illegible]二〇圓[illegible]十二[illegible]、△[illegible]五〇[illegible]山町[illegible]公水利組合

軍馬にも連日の慰問

物言はぬ戰士を[illegible]めようと[illegible]部隊への[illegible]慰問は連日[illegible]くが四月二十日から同二十日までに同部隊を訪れた慰問者は臺北市[illegible]町の佐久[illegible]さんが人參四十二[illegible]を

白衣の勇士達

ヤンヤの拍手

【[illegible]電話】[illegible]病院では五日午前九時、午後三時、同六時半の三回に亙つて[illegible]及び[illegible]院の白衣の勇士[illegible]を中央[illegible]に招待、[illegible]兵[illegible]さん[illegible]の慰問の心をこめた[illegible]と[illegible]に兵隊さん達は大喜びで拍手と[illegible]の盛況であつた

優良齒牙兒童あす表彰

臺北市[illegible]では六日午後一時から臺北[illegible]で第一[illegible]國民學校の優良齒牙兒童の表彰式を擧行する

國父の志、東亞保衞

五、五青年節 汪國府主席强調

【南京四日發同盟】國民政府に於ては[illegible]の國防會議[illegible]五月五日を「青年節」とする件を決定、即日國民政府令をもつて公布したが、五日の第一回青年節を迎へるに際し汪主席は「五、五青年節の意義」と題し大要左の如き談話を發表した

國民政府が毎年五月五日を青年節と定めたのは意義のあることで、五月四日は[illegible]節であり、六月六日は[illegible]節である、この兩節の間に介在するのが青年節である、[illegible]新緑の候、青年節を迎へたことは[illegible]たる青年の[illegible]を[illegible]したものといふべきである、そもそも五月五日は

民國十年[illegible]孫文先生が廣東で大總統に就任した記念日で中國の復興に關係深い日である、[illegible]時[illegible]に[illegible]し反革命[illegible]力が[illegible]してゐたが國父は國民革命を中斷せしめるに忍びず[illegible]平中國復興の[illegible]任を擔つて起つたのであつた、この[illegible]不拔の[illegible]こそ正に[illegible]に取つて[illegible]の[illegible]となるべきものである、われ〳〵が今回青年節を[illegible]するに當り青年は

國父が中國復興の重責を負つて起つたあの日のことを想起し、この不滅の[illegible]に從つて一路邁進しなければならぬ、要するに[illegible]の使命を擔つたことを自覺し[illegible]をもつて一切を[illegible]すべきである、民國十年五月五日國父が大總統に就任、[illegible]した[illegible]心[illegible]力を想起しわれ〳〵[illegible]つて國父の志を貫徹せねばならぬ

鎭南の勇士招魂祭

けふ双溪公園で嚴修

【[illegible]電話】[illegible]時[illegible]部双溪地方で土匪に[illegible]され[illegible]の華と散つた[illegible]兵[illegible]以下四十四勇士の[illegible]を[illegible]る招魂祭は五日午前十時から双溪公園で[illegible]、[illegible]の[illegible]を新たに[illegible]された祭[illegible]には[illegible]長[illegible]谷口[illegible]長江[illegible]氏はじめ大[illegible]司令官、[illegible]兵[illegible]司令官代理谷口[illegible]北[illegible]兵隊長、岩川[illegible]兵分隊長、[illegible]川[illegible]郡守以下[illegible]及び[illegible]内[illegible]、[illegible]三百[illegible]参列してまづ[illegible]な[illegible]、[illegible]の[illegible]があつて[illegible]、[illegible]長、[illegible]しく[illegible]を[illegible]り、[illegible]、大[illegible]司令官代理、[illegible]、[illegible]下[illegible]あつて同十一時半[illegible]のうちに終了した

第十回錬成會

發會式を擧行

臺北桔梗俱樂部

臺北桔梗俱樂部第十回錬成會發會式は五日午後五時から[illegible]俱樂部で擧行、[illegible]會より山[illegible]務部長、大[illegible]部長等が臨席[illegible]國民[illegible]のち山本[illegible]より新會員六十名に對し一場の訓示をなして[illegible]した、從來[illegible]は一週[illegible]で行つてゐたが今回から俱樂部食堂で開くこととなり一ヶ月間に

ポスト應召

【臺中[illegible]】十五年間通信[illegible]に偉大なる[illegible]した臺中市内のポストは金屬回收の要請に從つて[illegible]に[illegible]く[illegible]する事となつた[illegible]よなき[illegible]として[illegible]多年十萬市民の[illegible]吐しお[illegible]の[illegible]四十二個[illegible]四日[illegible]ある[illegible]が下り[illegible]の手にて[illegible]し[illegible]となつてゐるがその代用品として木造[illegible]が[illegible]する事となり一週間中に[illegible]の見込み

八日臺北市寧壯園の國旗奉戴式

延期中であつた臺北市寧壯園の國旗奉戴式は八日午前七時から[illegible]にて擧行する

日本美術報國會長に橫山大觀畫伯

【東京電話】全日本美術の總力を結集して美術報國に[illegible]しようと「社團法人日本美術報國會」の會長については[illegible]十一氏の[illegible]委員の手で[illegible]二[illegible]大[illegible]橫山大觀畫伯を推すことに[illegible]一致可決し四日同[illegible]の内諾を得た、[illegible]は五日[illegible]の[illegible]定であつたが同[illegible]政[illegible]の[illegible]可[illegible]の兩[illegible]が同時に發令式を擧げるやうになる見込みである

忌明に社會事業へ寄附

【[illegible]電話】[illegible]市[illegible]新[illegible]立川[illegible]氏は[illegible]の忌明に[illegible]人の[illegible]によつて一千圓を[illegible]社會事業助成會に寄附した

組織を『財團法人』に

方委聯盟、理事會で決定

[illegible]方面委員聯盟では五日午前十時から[illegible]府正[illegible]で理事[illegible]會を開催、會長西村文[illegible]局長、[illegible]主事[illegible]、[illegible]兵[illegible]以下理事二十二名が出席、西村會長の挨拶あつて直ちに議事に入り十七年度決算[illegible]のち、昭和十八年度歲入歲出[illegible]（[illegible]四千七百[illegible]圓）並に同[illegible]を原案通り可決、ついで[illegible]を[illegible]下の方面委員[illegible]の[illegible]に[illegible]み從來の[illegible]を「財團法人」に[illegible]し[illegible]を[illegible]化[illegible]して決戰の[illegible]に沿ひ[illegible]に[illegible]させることと決定、正午[illegible]した

ヨイ子供空の防人へ感謝獻金

【宜蘭電話】宜蘭[illegible]民學校のヨイ子供達は空の防人への[illegible]金として五百七十錢を[illegible]四日[illegible]宜蘭支局に[illegible]した

ゆうかり句會

五月例會を七日（金曜日）午後七時から市内[illegible]町

勤續者を表彰

【[illegible]】臺灣[illegible]組合聯合會臺北州支部では五日午前十一時から[illegible]所で同組合[illegible]勤續[illegible]者の[illegible]式を擧行したが、本年[illegible]における[illegible]者は十五年以上[illegible]永[illegible]氏他三名、十年以上[illegible]氏他四名、計七名である

端午の節句に入寮式

新竹州の志願兵志願者

【新竹電話】新竹州下の[illegible]多い志願者の中から選ばれた[illegible]志願者二百二十名は[illegible]の通り[illegible]府の[illegible]を受ける[illegible]新竹[illegible]所[illegible]より[illegible]を受けることとなつたが、五日午前十時から同[illegible]所で[illegible]知事代理金子[illegible]部長、[illegible]山[illegible]部長、[illegible]長、[illegible]外[illegible]を[illegible]して男子の節句に[illegible]しい入寮式を擧行、金子[illegible]部長より[illegible]を[illegible]り一[illegible]を[illegible]し全[illegible]民の期待に[illegible]かざる[illegible]を以て一人[illegible]れず[illegible]を[illegible]され[illegible]に[illegible]されんことを望むと[illegible]あり更に五ヶ條の[illegible]を[illegible]して大いに[illegible]した[illegible]いて[illegible]の祝辭あり最後に入寮生代表[illegible]村正俊君の力強き[illegible]があつて[illegible]式したが一同は[illegible]ちに[illegible]に入つた、[illegible]は[illegible]に[illegible]く[illegible]所[illegible]の日課により行はれる

本島青年の最高の[illegible]たる志願兵を目指す[illegible]は[illegible]

今夜の番組

【第一放送】▲六・〇〇少國民の時間[illegible]ブン[illegible]氏の[illegible]句・安[illegible]（[illegible]北のみ）[illegible]▲六・三〇[illegible]下の國民保健（臺北のみ）[illegible]▲六・三〇[illegible]正治▲六・[illegible]（[illegible]のみ）[illegible]ついて（臺中のみ）[illegible]部長中山[illegible]▲六・五〇音樂（レコード）（臺北）▲七・三〇端午の節句と[illegible]兵務局長陸軍少將[illegible]▲七・五〇ローマ[illegible]▲八・〇〇[illegible]ピアノ獨奏（レコード）[illegible]▲九・〇〇[illegible]

【第二放送】▲五・五〇放送[illegible]▲六・〇〇[illegible]

明朝の番組

[illegible]▲六・〇〇[illegible]▲六・三〇民族の[illegible]▲七・〇〇[illegible]▲九・〇〇[illegible]

後三國志

（出師の卷）

吉川英治作

矢野橋村畫

王風羽扇（三）（88）

[illegible]

結核專門藥 ホシ

戰時下日本の待望せる

專門藥劑遂に完成！

[illegible]

☆星製藥臺灣出張所

强力リベール錠

[illegible]

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

絢爛・天覽馬事繪卷
宛ら戰國の昔を偲ぶ

【東京電話】[illegible]

アンドリユース米空軍司令卽死

【ストツクホルム四日同盟】ロンドン來電＝英國駐在米空軍司令官フランク・アンドリユース中將が搭乗機の墜落のため戰死を遂げた旨四日發表した

[illegible]

水豐發電所御視察
滿洲國皇帝陛下

【京城電話】滿洲國皇帝陛下には五日安東を御發[illegible]水豐發電所を御巡視遊ばされたが總督府發表では同日午後八時次の如く發表した

總督府發表　滿洲國皇帝陛下には五月五日水豐發電所御視察あらせられたり

[illegible]

安東御泊所御歸着

【新京五日發同盟】宮內府發表（五月五日午後八時）

[illegible]

第廿四集團殆ど潰滅
今次十八春大行作戰

戰鬪經過　【山西南部大行山脈〇〇前線五日發同盟】南部大行山脈一帶に展開された十八春大行作戰において我が精鋭部隊は去る四月二十日作戰開始以來五月四日までに敵屍、捕虜一萬五千の輝かしい戰果を擧げ更に第二十四集團軍の主力部隊たる新編第五軍長孫殿英以下多數の敵首腦者の投降を見、斯くて第二十四集團軍は殆んど潰滅するに至つた、以下今次十八春大行作戰の戰鬪經過を展望する

一、鐵の包圍圏完成

[illegible]

二、新編第五軍長孫殿英の投降

[illegible]

三、作戰最終段階

[illegible]

四、

[illegible]

五、鐵脚部隊の勇者

[illegible]

六、作戰の成果

[illegible]

李仙州麾下を猛擊

【徐州五日發同盟】[illegible]

冀中分區の殘敵擊破
敵の糧秣倉庫を覆滅

【京漢沿線〇〇前線五日發同盟】[illegible]

日本軍は何時でも大攻勢開始の態勢
獨逸紙、谷萩少將口演を論評

【ベルリン四日發同盟】[illegible]

ル大統領大敗北
米政府と組合に非難囂々

【ブエノスアイレス四日發同盟】[illegible]

忠誠の血湧く青少年
奮起の秋こそ今
端午の佳節　那須兵務局長口演

【東京電話】陸軍兵務局長那須義雄少將は五日午後七時半から「端午の佳節と陸軍生徒」と題してラジオ放送を行つたが、那須兵務局長は同口演に於て武力戰完遂のためには莫大なる人的資材の擴大と補充が肝要、特に航空作戰のためには大なる人的資材補充の必要を強調し更に直接戰力たる陸軍生徒の[illegible]の必要性を述べて國民一部にある誤れる[illegible]を是正し、「忠誠の血に湧く青少年の奮起すべき秋は今だ」と結んで多大の感銘を與へた　口演要旨左の通り

本日畏くも宮中におかせられては天覽[illegible]の御催あり不肖私も出席の光榮に浴しましたことは誠に感激にたへないところであります。本日は又端午の節句に當つてをります。

[illegible]

帝國　[illegible]

重要　[illegible]

將兵　に選用せられて初めて[illegible]

有難　[illegible]

生産　[illegible]

優先　[illegible]

志願　[illegible]

皇國　[illegible]

好成績は市街地信組
國民貯蓄機關別の實績

[illegible]

北風

イギリスの或る經濟學者が「一九六〇年の經濟」といふ近著を通して次のやうなことを云つてゐるさうだ▲それは「今から十六、七年後の一九六〇年ともなれば日本その他アジア諸國家の工業化は[illegible]して歐米なくの輸入國となる」[illegible]

けふの官報

[illegible]

人事

[illegible]

常に備へよ
戰爭死亡傷害保險取扱
相互組織　千代田生命

建築科講義錄
土木科講義錄
[illegible]
東京麹町區內幸町二ノ二十
帝國工業教育會

趣味の數學書

【最新刊】最新數學パヅルの研究　藤村幸三郎著　定價一・五〇　送料一五
最新數學パヅル　藤村幸三郎著　定價一・七五　送料八
新數學パヅル百題　藤村幸三郎著　定價一・七五　送料八
數學と兵隊　井上早苗著　定價一・五〇　送料八
考へる樂しさ（日本圖書館協會推薦）　藤原安治郎著　定價一・五〇　送料一五
數のたしなみ　藤原安治郎著　定價一・五〇　送料一五
少年數學の歷史（文部省推薦）　藤原安治郎著　定價二・〇〇　送料八
趣味の數學教室　藤原安治郎著　定價一・五〇　送料一五

東京麹町區富士見町二　研究社　振替東京二八六〇一

農業世界
四月號　定價五十五錢　送料二錢　東京日本橋　博文館

（特輯）戰時畑作物の作り方と利用法
◎增產古代水稻苗の作り方
◎甘藷苗床の踏査
◎種苗購求の注意
◎農業團體の統合に就いて
・寸勺の土と雖も國土
・砂丘開拓甘藷栽培
・家庭園藝放送夜話
・芽葱の軟化栽培
・模範乳牛村を訪て
窒素燐酸肥料用法
技術圖解の頁
[illegible]

子母澤寛傑作集
飛驒の兄弟　￥一・七〇
三味線堀　￥一・四〇
赤城の雁　￥一・五〇
源太郎星　￥一・八〇
はれ〴〵街道　￥一・四〇
女夫系圖　￥一・六〇
お小夜手鞠　￥一・八〇
意地張地藏　￥一・八〇
光圀主從　￥一・七〇
飛ぶ野火　￥一・六〇

防諜探偵小說　大坂圭吉　假面の親日　作者の第一長篇に出來　B6　三九〇頁　定價二・〇〇　送料〇・一五
長谷川伸　國姓爺　￥二・〇〇
幕末祕錄　￥二・九〇
東京・品川區　大道書房

室戸書房新刊
丹羽文雄著　少國民版　ソロモン海戰　B6判　二四〇頁　價一・五〇　送一五
鷲尾雨工著　合戰小牧山　B6判　三五〇頁　價二・〇〇　送一六
星川周太郎著　洛外一乘寺村　B6判　三三〇頁　價一・八〇　送一六

東京遞信局無線課長・東京高等商船學校教授　菊谷秀雄著　子供の無線學　￥3.30　〒0.20
電子社發行

人間の性格　高良武久著　定價二・三〇　〒一五
山談花語　栃內吉彥著　定價二・四〇　〒一五
少國民の爲の俳句の本　村山古鄉著　定價二・四〇　〒一五
國際謀略の話　柴田武福著　定價二・四〇　〒一五
日本を觀る（十六外人の日本觀）　岸田國士・田部隆次編　定價四・八〇　〒二〇
青山出版社

社説

決戰下婦人の服裝

新らしき衣生活を創造せよ

一

最近、婦人のモンペ着用が各方面の問題となつてゐる[illegible]、モンペ着用の[illegible]、多くはモンペ着用の[illegible]といふ點にあり、このことは現に[illegible]モンペ着用の一番流行してゐる高雄市あたりにその著しき傾向として看取されるといふ。もつとも、中にはあれは古希を改造したのであつて新調に非ず、と[illegible]する向もあるが外出用モンペの[illegible]新たに婦人間の新らしい傾向となりつつあることは否定出來ない事實であり從つて古着のストツクを大量に有しない中流以下の家庭にあつては、この傾向が著しく[illegible]人の[illegible]として[illegible]ないことであらう。[illegible]

[illegible]

三

新しき考へるときモンペ着用の是非あるひは又モンペ着用が婦人の[illegible]

[illegible]

工業生產力增强に確乎たる礎石寄與

大甲溪開發工事

安藤軍司令官祝辭

祝辭

本日茲に大甲溪開發[illegible]工事の起工式を擧行せらるるに當り[illegible]

[illegible]

昭和十八年五月五日

臺灣軍司令官　安藤利吉

人事盡し最大效率

增田臺電社長の祝辭

祝辭

本日茲に[illegible]閣下御臨席のもとに大甲溪開發電源工事起工式を擧げらるるに當り一言祝辭を申述ぶるの機會を與へられましたる事は無上の光榮とする所であります。大東亞戰爭の現段階に於て[illegible]化の使命を達成する[illegible]たる[illegible]力となる大甲溪開發事業は主として**電力及工業**用水の供給を目的とするものであり併せて下流地域の灌漑治水等に一滴も漏らさず水資源を利用せんとするものであります[illegible]の雄大にして計畫の[illegible]なる誠に[illegible]に値するものがあると存じます、抑大甲溪は本島の中央部臺中州の沃野を東西に貫流して新高港附近に注ぐ大河でありまして其の水源は遠く中央山脈系、次高山系及白姑大山系に屬する海拔三千米を突破する峻嶺に發源せられ流域一千二百餘平方粁を有し此の流域の[illegible]たる[illegible]に高堰堤を築造して上流一帶の[illegible]を一大貯水池と爲し各季節に於て不時降雨なる流量を調節し中流[illegible]を折返し利用して發電計畫をなすものでありましてこれに依つて下流地域に於ける洪水を調節し併せて灌漑用水の確保新高港附近に於ける工業用水の供給等**國土計畫上**偉大なる效果を擧ぐることと相成るのであります

[illegible]

世界的大事業協力

森田臺中州知事の祝辭

祝辭

本日茲に大甲溪開發[illegible]の起工式を擧行せらるるに當り[illegible]

新高築港と相俟つて[illegible]

日本土木技術[illegible]

[illegible]

昭和十八年五月五日

臺中州知事　正五位勳四等　森田俊介

建築の決戰態勢

係官會合し對策を練る

[illegible]

打合事項

[illegible]

建築基準を決定

[illegible]

國債貯金の制度

本島で目下實施準備中

[illegible]

臺灣株式取引所設置問題（二）

臺北帝國大學教授　今西庄次郎

必要性の再吟味

[illegible]

臺灣に株式取引所が[illegible]

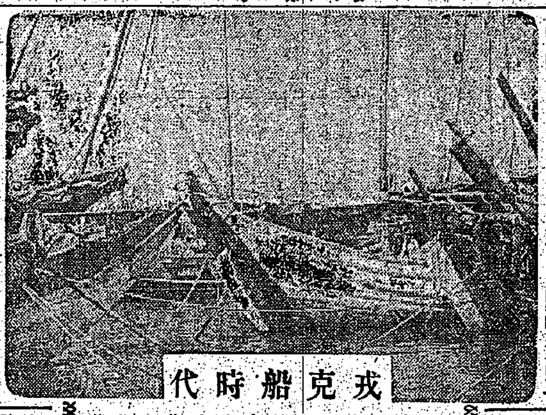
第一に[illegible]

製糖會社[illegible]

次に本島投機[illegible]

次に最近の[illegible]

これで大體[illegible]（未完）



戎克船時代

惣田鰹の大群

新竹の定置網有望

[illegible]

【高雄電話】[illegible]大陸との交通もとの發見等なら上海、香港[illegible]

決戰

野菜行商人と與擔方に就て

[illegible]

（臺北中央市場[illegible]）

堆肥增產へ總進軍

婦女、中等學生も動員

高雄州の獎勵計畫

[illegible]

中小商工業再編成協力會及轉廢業者共助會定款決定す

[illegible]

粉乳等の販賣價格指定

[illegible]

市況（五日）

兜町後場況

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

吉田晴風氏の光盛社推薦
尺八獨習
[illegible]
晴風會本部

スルフォンアミド劑靜脈注射液の嚆矢!!
[illegible]
靜脈注射用
ポンジール
注射液
[illegible]株式會社

衛生口錠
カオール
口中殺菌
口熱口臭
身心爽快
食慾不振
消化不良
宿酔
本舗　東京　安藤井筒堂[illegible]日本橋

健全な色調
働く女性の
身嗜みに
資生堂
七色粉白粉
東京　資生堂　謹製

キキメで評判の
ベルツ丸
增產
銃後も戰線！
健康で御奉公
[illegible]
本舗　東京・日本橋・[illegible]　鈴木日本堂

高血壓
一歩手前が[illegible]
頭重、不眠、耳鳴、舌もつれ
手足のシビれに油斷は禁物！
ばしばし恐しい中風、半身不隨に
最新學説が生んだ急所（血壓中樞）の故障を直す
特殊ホルモン補給療法とは？
ここが急所
[illegible]
高血壓中風に
ヤキグラミン
[illegible]

朝は朝禮、夜は常會

第十七回大詔奉戴日

[illegible]

健民の夕

臺北州警察部で

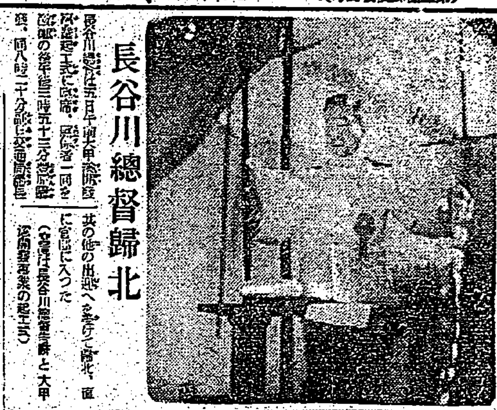
杜生活部長

[illegible]

護し次代の指導者

[illegible]

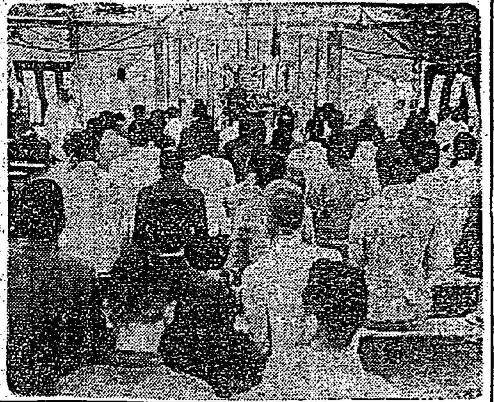
齒科
桃園街長美[illegible]
國本齒科醫院



長谷川總督歸北

長谷川總督は五日午前大甲[illegible]

（寫眞は長谷川總督と大甲[illegible]）



雄渾の彩管を振ひ決戰に一翼擔ふ

臺灣美術奉公會發足

[illegible]

會長式辭

眞の日本美を顯現 本島文化を振興

[illegible]

首相の訓示を傳達

梁井臺北州知事宜蘭へ

【宜蘭電話】[illegible]

皇帝陛下

白衣の勇士に懇ろな御慰問

【新京電話】[illegible]

輝く健民への道

（3）本社主催功勞者座談會

先づ生活環境を改善 古老階級の思想も是正

堀内次雄氏 [illegible]

竹林氏 [illegible]

堀内氏 [illegible]

瀧澤氏 [illegible]

竹林氏 [illegible]

大澤氏 [illegible]

旋參事 [illegible]

[illegible]

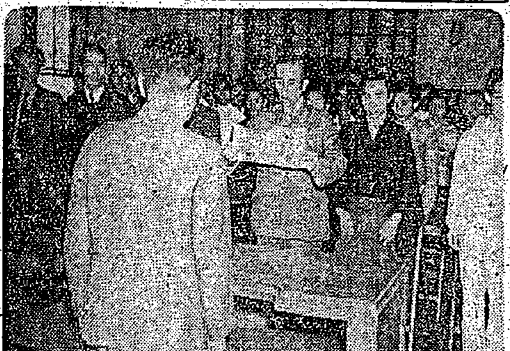
丸山體育官 [illegible]

坂本氏 [illegible]

鐵道部隊の偉勳

二八四名に賞賜物件傳達

[illegible]



朝は朝禮、夜は常會

第十七回大詔奉戴日

[illegible]

賞賜物件傳達式

六日宜蘭市で擧行

[illegible]

廈門神社春季大祭

【廈門五日發】[illegible]

相撲講習會

南門國校で開催中

[illegible]

『健民の夕』

臺北州警察部で

[illegible]

杜生活部長 臺北州視察

健民週間五日目

[illegible]

健民へ限りなき前進！

さあ強くならう

各地に逞しい行事の數々

基隆 [illegible]

花蓮港 [illegible]

撃ちてし止まむ

米英撃滅へ振ひ起つ高砂族

[illegible]

護れ次代の指導者

臺灣社會事業協會 兒童愛護座談會

[illegible]

殊勳の『海軍將校實戰座談會』開く

本社主催

【高雄電話】本社では輝かしい決戰に迎へる海軍記念日を期し海軍軍事思想の啓發と高雄警備府移轉を記念し大東亞戰爭の第一線に參加した殊勳の海軍將校實戰座談會を五日午後六時から高雄海軍倶樂部で開催、高雄警備府司令部島崎參謀長を始め石川少佐、西野少佐、本田大佐、堀内中佐、篠崎大佐、佐久間中佐、菅井少佐、田中大佐、〇〇教官宇野少佐、〇〇教官堂前少佐が出席、本社側から杉野主筆、大竹高雄支局長、本間、出雲路兩記者が列席した、本座談會の速記錄は近く本紙に連載する

防空獻金 哨員感謝資金（三）

金五百圓　彰化銀行

金三百圓　千代田生命臺灣支社員一同

金二百四十七圓　[illegible]

金百七十二圓八十錢　[illegible]

金百圓　大田安次

金百圓　三宅正雄

[illegible]

小計金二千四百十一圓四十三錢

累計金五萬三百六十圓廿一錢

ラヂオ

第一放送

[illegible]

第二放送

[illegible]

地球鉛筆

製図用鉛筆ノ生命ハ特許電氣滲透芯

撃ちてし止まむ

主要製品　工業用エアーホース・ウオーターホース・ゴムベルト・コンベアーベルト・Ｖ型ベルト・ゴムパツキング一切・ゴム型物一切・運搬車用ソレツトタイヤー・再生ゴム製造・アスベストパツキング一切

中央ゴム工業合資會社

營業所　[illegible]

工場　臺北州鷺洲庄三重埔字菜寮一八四

ナリス　紅

東洋人のお肌にピツタリあふ　自然についてモチがよい

[illegible]化學研究所

今日の映畫と演藝

大世界　臺劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界　基隆世界　臺北州合同興行會社

[illegible]

基隆の映畫

[illegible]

貸借對照表　臺北合同運送株式會社

[illegible]

臺灣履物共販株式會社

[illegible]

第四回決算營業報告　臺灣羽毛輸出振興株式會社

[illegible]

第四期決算公告

[illegible]

父藤井春儀豫て病氣大學附属病院へ入院療養中の處養生不相叶本五日午後五時三十分永眠致候に付生前御厚誼を拜謝し此段謹告候也

[illegible]

藤井豐子　藤井ツナ　藤井源吉　藤井安造　塚田善二　小山和夫　小山久吉　中島健雄　大久保正治郎　北高市　佐野庄太郎　服部倉重　小西眞實　宇治原志郎　岩田比一　川口文七

父越智寅一儀臺南醫院に於て加療中の處養生不相叶五月五日午前一時死去仕候間生前の御厚誼を拜謝し此段謹告仕候

[illegible]

越智總二　越智ツル　親戚一同　友人一同　開山區會

弊社取締役廣田常吉儀高千穗丸にて遭難死去致候間以本廣告御通知に代へ此段謹告仕候

追而告別式は五月七日午後四時三橋町葬儀堂に於て社葬を以て相營可申候

昭和十八年五月六日

南邦自動車株式會社

父廣田常吉儀高千穗丸にて遭難死去致候間生前の御交誼を謝し以本廣告御通知に代へ謹告仕候

昭和十八年五月六日　臺北市[illegible]

廣田健　廣田芳子　黎戊巳　頼海清　柴田泰資

荊妻フサヨ儀豫テ病氣療養中ノ處養生相叶ハズ五月五日午前二時五十分死去致候間此段謹告仕候

[illegible]

夫　野元彦麿

兄　小川四郎

荊妻ナヲノ儀豫而病氣療養中ノ處五月五日午後四時三十分死去致候間此段生前辱知諸彦ニ謹告仕リ候

[illegible]

夫　天羽重一

天羽頼太郎　坂本敏一　矢野政良

父岩神正一儀五月五日午後五時心臓痲痺ニテ死亡仕候間生前ノ御交誼ヲ深謝シ此段御通知申上候

[illegible]

信彦　キヨシ　樽谷六三郎　門馬廣　三山幸一

父顔秀堂（阿壯）儀豫而帝大附属醫院ニ於テ病氣療養中ノ處五日午後四時四十五分享年六十歳ヲ以テ死去致候ニ付段謹告仕候

[illegible]

顔火木　顔氏秀　顔興換　北原一　張鴻圖　高光敬一

五分搗の御飯に慰問袋に是非・・・

やなぎの味付ごま鹽

美味・滋養・強壯

齒科　國本齒科醫院

桃園街長美一二二

國本昌市

興亞の子寶を選奬
五月五日子供の日迎へ

高雄　【高雄電話】五日子供の日を迎へて高雄市社會事業助成會では同日午前十時市會議事室に於て乳幼兒表彰式を擧行市内より選ばれた興亞の子寶高江雨森榮子さん他二十三名の優良兒に對し中松市長より表彰狀並に賞品が授與された

高雄州の優良兒

【高雄電話】高雄州の乳幼兒審査は去る二日を以て最後の總審査を終へ二十五名を優良兒に選拔して五日子供の日に表彰されたが、それの優良兒氏名は左の通りである

（高雄市）苓江町須榮子、白井祥三、曾公良、津波古幸江、大屋英俊、高橋明、奧村光世、後藤良子、關宗子、（屏東市）渡邊近俊、上田純一郎、佐川昭子、園田光子、右田國夫、（岡山郡）梁川良正、平戸山紀子、（鳳山郡）陳國欽、（旗山郡）劉幸太、吉川友子、盛茂松、（潮州郡）吳幸子、黎賢第子、（東港郡）木邑丑、（恒春郡）三島洋子、林信行

臺南州　めよ殖やせよ　【臺南電話】生地に溢てよ、强く、正しく、健やかに御國の寶を大切に育てませうと、臺南州では去る四月十八日より乳幼兒健康審査を州下各市郡に於て實施して來たが五日の端午の節句に最優良兒男子北門郡七股庄[illegible]ちやん外三十二名、女子臺南市李治惠子ちやん外十八名、計五十名に對し選奬狀並に賞品を授與興亞の赤ちやんの前途を祝福した、臺南市においても五日午後三時より市公會堂に於て最優良兒[illegible]ちやん外二十九名に對し夫々選奬狀並に賞品を羽良市長より傳達、今後の育兒指導の講演が行はれ和やかな樂しい風景を呈して盛會裡に散會した

嘉義の優良兒

【嘉義電話】嘉義市では五月五日子供の日を期して午前九時から公會堂に於て乳幼兒選奬式を擧行、數多くの赤ちやんの中から選り出された優良兒たちはそれ〲誇りに胸を張り晴れの裝ひのお父さん、お母さんに抱かれて宮城遙拜ののち本田市長式辭、嘉義社會事業協會[illegible]

臺中の優良兒

【臺中電話】臺中市乳幼兒保護協會主催第十四回乳幼兒表彰式は五日の"子供の日"をトし午前十時市民館にて山下協會長、宮田市尹、[illegible]課長外來賓多數臨席の下に擧行された、定刻前からぞく〲と詰めかけた"興亞の寶"を手にしつかと抱きしめたお母さん達は顏一杯に微笑を浮べて參集すれば定刻國民儀禮後、山下協會長より左の優良兒に夫々選奬狀及賞品を授與した後、宮田市尹より祝辭があつて閉式した

一、滿一歲以下の部

△特優良　臺中市[illegible]

臺東の優良兒

【臺東電話】臺東街乳幼兒審査會では子供の日の五日午後一時より街役場會議室に於て當日の審査會に於て入賞決定せる左記優良乳幼兒の表彰式を擧行した

一等　劉武夫（男）、永田純子（女）

二等　津野滋正（男）、三島のり子（女）

三等　永吉忠荷（男）、若林榮久子（女）

四等　王淑法（男）、長岡ミミ子（女）

五等　呉國安（男）、平まき子（女）

產業開發に邁進
決戰下東石郡面目一新

【嘉義電話】決戰食糧の確保、戰略物資、水產物等の生產に拍車を加ふべく臺南州東石郡は來る本年度を目標に[illegible]の計畫を樹て[illegible]

[illegible]

輝く食糧增產戰士
臺南州下五十七名表彰

【臺南電話】決戰下食糧增產の一翼に總力を結集、輝く增產戰士として多大の成果を擧げた臺南州下の食糧增產戰士五十七名に對する表彰式は五日午後一時臺南州大州會議事室に於て[illegible]

[illegible]

賴君の愛國の赤誠

【桃園電話】[illegible]

本田市長庶園視察

【嘉義電話】決戰食糧增產の[illegible]

兵隊さん有難う
皇軍に感謝の慰問袋

宜蘭　日婦宜蘭市支會では「兵隊さん有難う」と銃後市民の赤誠を[illegible]

羅東　南西太平洋方面および[illegible]

日婦澎湖廳支部で赤誠奉仕

大日本婦人會澎湖廳支部では[illegible]

一日を英靈供養に
感謝の戸別弔問

【新竹電話】[illegible]

高雄州の學童相撲大會

【高雄電話】[illegible]

葬儀は簡素に
獻金寄附遺言

【新竹電話】[illegible]

新營菓子共同組合恤兵獻金

[illegible]

南方に名譽の戰死
實直な青年　故守分上等兵

【花蓮港電話】生きて[illegible]南方最前線に於て壯烈なる名譽の戰死を遂げた花蓮港市[illegible]故守分上等兵は[illegible]

[illegible]

皇軍慰問鷄卵獻納

【竹南電話】[illegible]

少年保護"母の會"

【臺中電話】[illegible]

宮尾知事嘉義視察

【嘉義電話】[illegible]

高雄工業用水道
近く竣工式擧行

【高雄電話】南進基地として重大使命を持つ大高雄の工業化に即應すべく高雄市ではつとに工業用水道の建設を企劃し昭和十三年度より[illegible]

陸軍技術候補生志願者募集

[illegible]

一、陸軍技術候補生より任官せる技術部將校の勤務

二、志願者の資格

三、志願手續

四、採用檢査

五、採用及入隊

六、採用後の取扱及給與

[illegible]

高砂族の皇民錬成
新竹州で更に平地訓練

【新竹電話】[illegible]

新竹市工業都市建設の實地調査

【新竹電話】[illegible]

硬貨回收二十萬枚
宜蘭もまた好成績

【宜蘭電話】[illegible]

中壢郡商奉支會役職員

【中壢電話】[illegible]

女性の强さを發揮
女教員座談會好成績

【新竹電話】[illegible]

配給問題諮問

【新竹電話】[illegible]

大衆向住宅の建設計畫

【新竹電話】[illegible]

竹南郡　[illegible]

新竹市　[illegible]

海山郡　[illegible]

羅東街　[illegible]

苗栗郡　[illegible]

赤誠の獻金

軍司令部（與付）　國防獻金[illegible]

恤兵金　[illegible]

獻品　[illegible]

海軍武官府（與付）　國防獻金[illegible]

建艦獻金　[illegible]

恤兵金　[illegible]

大いなる祭（133）

中野實作　三芳悌吉畫

新しき任務（七）

[illegible]

味なものは見えない。それはかりか、立派な大理石の圓柱が、たち並んで一見、地下の宮殿といつたやうな豪奢な感じだつた。ところどころに、幾何學の圖形のやうな壁畫が、彩石で鏤められてあり、人間とも動物ともつかない石像が、圓柱の蔭にうづくまつてゐた。

さつきの人影はどこへ消えたか見えない。がらんとした寺院の廻廊に聞えるものといつたら、自分の呼吸ばかりのやうな氣が彼女はした。

「いつたいこの秘密の正體はなんであらうか」

アルメイダが、この地下室と寺院のあることは勿論であるが、使用してゐたやうな商館本部の近代的な設備のかはりに、かういふ古めかしい壁畫や謎の人物の出入りにぶつかつて彼女は、一寸想像がつかなくなつた。

（しかし、ともあれ）

アルメイダが、隱してゐる以上は……（彼女はさらに勇をこして廻廊の間を縫ひはじめた。

と、とつぜんガヤガヤと人聲が聞えて離れた足音が、彼女の方へ近づいて來た。素早く圓柱の蔭へ身をひそませてうかがつてゐると、すぐ目の前の石壁がぽかりと穴のやうにあいて、中からぞろ〲と十四人のいづれも怪奇の怪しい人物が現はれた。

その連中の中には何か私語を交す者があり、又、先頭に立つた一人は室内にうしろにつづく者に話しかけてゐるのだが、何をいつてゐるか、まつたく聞き取れない外國語で、彼女にはさつぱり意味が判らない。

が、ときどき洩れる言葉の中に

「[illegible]」

そして

「[illegible]」

といふ英語がまじつてゐる。

[illegible]

特許　意匠　商標　實用新案

出願及鑑定

中松特許法律事務所

所長　中松盛雄

大阪出張所

小西六寫眞工業株式會社

さくらフヰルム

さくら印畫紙

求人　幹部　社員　寫眞　家庭　家庭　女子　タイ　女子　齒科　電話　賣家　好評　印畫　中古　擴聲器とラジオ新入荷　梅肉エキス　引越　引越　荷造　陸上

[illegible]

京染　更生　玄米　ズボン　冷藏庫　刀劍專門

招聘　タイプ　張所長　勝谷時雄

第一徵兵出張所長　勝谷時雄

文化木炭

行け南方共榮圏へ大陸へ

大日本海外青年會

肺病ろくまく

全快者の發表　專門藥

中風藥　十八円

胃腸劑　十八円

治淋劑　十五円・廿七円

驅毒劑　八円・十四円

臺灣　臺北　基隆　宜蘭　新竹　臺中　嘉義　臺南　高雄

有田ドラッグへ

虛無僧系圖

吉川英治原作映畫化

80美均一（稅共）

謎と怪奇を追つて十大花形競演

大映京都の興趣映畫

太平館同時上映

臺北州合同興行會社直營

六日封切

體育週間　六月一日より十日マデ

朝日家庭グラフ

文部省認定文化映畫

體力は國のちから

日本ニュース（一五一號）

均一（十錢）

新世界館

臺北州合同興行會社直營

昔も　今も

効能で賣れる　ひふみおくり

逆上を引下げ・便通をよくし

本家ひふくや伊藤長兵衛

大阪高津表門筋

振替大阪九七三・電話南七二九